

事業計画書

事業内容及びスケジュール

①NPO通信「日本平成村」発行

NPO 法人日本平成村の運営報告、地域づくり活動の様子、地域住民へのお知らせを掲載する広報紙を作成し、広く地域内へ周知をします。

- ・地域委員会の活動報告
- ・武儀生涯学習センターの利用状況報告
- ・自治会の地域イベントなどを訊き、地域情報を掲載する
- ・一般公募した記事や写真の掲載

②情報基地「武儀」の設置と運営

武儀生涯学習センターに、「情報基地むぎ」を設置し、様々な情報（人材バンクに登録された人の情報、行事・イベントの告知、協力者やボランティアの募集など）を集約し、情報を多世代で活用します。

- ・各種団体・多世代が情報交換・情報発信できる場を作る
各種団体・他委員会とも合同で会議し計画を立てる
- ・NPO 法人日本平成村のホームページの充実
地域委員会の活動報告やNPO通信のバックナンバーを掲載する
武儀生涯学習センターのブログや Twitter と連動させる
- ・NPO 法人日本平成村の活動説明会
説明会事態は執行部で行うが、通信での情報発信などで活躍する。
- ・「100年後の武儀に残したい」写真展の開催、写真集発行計画
武儀中学校の廃校にともない卒業アルバムから写真をまとめて作成しているのをそれと連携していく。
新しい写真、家に保管されている古い写真を募る
- ・文化協会員や有志が作品を発表できる展示コーナーを作り、作品を募集する

③多世代交流サロンの運営（憩いの場をつくろう！）

多世代が交流できるイベント案を検討する。

④武儀のむかし話 伝説ロマンウォークの会 運営

武儀のむかし話を活用したウォーキングを実施します。また、武儀のむかし話を集め、後世に残します。

ウォーキング大会の企画・運営

5月と11月に開催

⑤「ムーンライトコンサート in 高澤」開催支援

武儀が誇る文化遺産「高澤観音」と音楽の魅力を広く伝えていくために行っている、「ムーンライトコンサート in 高澤」の運営費の一部を助成します。

10月に高澤でコンサート開催

⑥「スポーツの仲間づくり」支援

スポーツ団体に対して、運営費の一部を助成します。

⑦「武儀青少年健全育成協議会」支援

青少年健全育成協議会の活動費の一部を助成し、武儀地域ならではの地域を巻き込んだ活動を応援します。

⑧成人式 集合写真プレゼント

成人式の集合写真を新成人に贈呈し、NPO 法人日本平成村の活動を、次代を担う若者にPRします。

⑨武儀人材バンクの設置と活用（各種講座の開催）

人の情報を「武儀人材バンク」に登録して、講師としての活用を図ります。

- ・各種団体に人材の推薦をしてもらう

NPO通信で人材の募集・講座などの募集を定期的に行う

- ・ホームページで情報を閲覧できるように計画を立てる
- ・将来的には人材を生かした講座を開催する

⑩武儀のイベント開催（「復活！「サマーフェスタ」など）

地域産品を活用した武儀ならではのイベント開催や昔の催しを復刻するイベントを開催します。

- ・津保川花火大会に盆おどり大会を実施する

花火が打ち上がる前の時間に地域イベントを盛り上げるため、盆踊り大会を開催する。

⑪津保川花火大会の支援

津保川花火大会及び津保川産業祭の費用の一部を助成し、地域の人が楽しめる事業を応援します。

花火大会の企画、花火の準備・お手伝い、後片付け

⑫武儀体験プログラムの検討

武儀固有の資源を活用した体験プログラムを創り、多くの人々が交流し、体験できる仕組みを検討します。

八滝ウッドイーランドで夏休み期間中に宿泊者を対象に炭焼き体験ツアーを行う。

⑬「しあわせの気の森」の活用

2月～3月にパワースポットコースの健康づくりウォーキング実施する。

⑭農業の支援

獣害対策の勉強会や講習会等の実施の会議を検討

⑮林業の支援

椎茸などの林産物のPRと新しい雇用をつくる木材を活用したビジネスを調査します。

林業振興対策会議を各種団体や林業従事者等にも呼びかけ、対策会議を開催する。

⑯しあわせの気の森の除草

道の駅平成の裏山にあるしあわせの気の森は官民が協力し、整備した森であり、花木のオーナー制を取り入れて、一年を通して花木が楽しめる森として来場者が訪れている。このしあわせの気の森（教育の森）を除草ボランティアにより、環境整備します。

⑰武儀のみまわり隊によるパトロール

地域内を巡回するバスを活用した防犯啓発、夜間のパトロール等の実施により、安心して暮らせる環境づくりを進めます。

・地域内のみまわり隊活動も同時に行っているチロリンバスにAEDを設置し、緊急時に対処できる体制をとる。

⑱見守り隊をつくろう（高齢者世帯の見守り）

地域みんなが見守りの意識を持ち、連携してお年寄りの暮らしを支援する仕組みをつくれます。

- ・社協、老人クラブや自治会など各種団体で専門委員会を設けて見守り隊を検討する
- ・NPOのカラーを決めて、見守り隊スタッフジャンパー等を作成する

⑱便利な地域内バス運行

交通弱者の外出を支援して、高齢者の買い物が便利になるように、運行を検討します。

- ・買い物、診療所への特急便の検討
- ・地域内バスの乗車体験、福祉有償運送の利用の仕方のPRを通信で掲載

⑳人の力を伸ばして生かそう（サポーター養成など）

ヤングシルバー層（熟年層）の力を生かすために、ボランティア育成講座、高齢者支援のためのサポーター養成講座等を開催します。

- ・AED取扱講習会を開催する
- ・NPO通信にて自治会、老人会、サロン等、人が集まる時に講習会が開催できるように呼びかけをする。

㉑要援護者家庭の除雪、通学路の除雪

ひとり暮らし、高齢者世帯のみの家庭の要援護世帯で、自分で除雪できない場合に、除雪を手伝う。また、通学路の歩道の除雪を行う。

㉒ササユリ保護育成会の支援

ササユリは、旧武儀町の花で、自然環境のバロメーターである。現在はその数が激減しているので、ササユリの保護育成を行う団体への助成を行い、自然環境保全に努める。

㉓むぎファミリーサポート事業

一時的に子どもの面倒をみる援助体制をつくります。特に、市の制度では対応できない、緊急的な子どもの預かりを行えるよう体制を整備します。

- ・各種団体や組合等から、子どもを対象にした行事やイベントについて調査し、NPO通信にて案内をする。

②④いなかっこクラブ

子どもを地域で育むためのプログラムをつくり、地域の大人が先生になり、学びを支援、工作や実験教室などを開催し、子どもの充実した夏休みの生活を応援します。

- ・夏休み期間の子どもの支援
- ・折り紙、彫刻、化学実験教室の開催など、子どもが楽しく過ごせるプログラムをつくれます。
- ・子どもの学習を支援できる人（大学生、教師 OB など）を募り、子どもの学ぶ意欲を応援します。

②⑤乳幼児学級応援事業

武儀乳幼児期家庭教育学級の参加者の傷害保険料の助成を行います。

②⑥買い物支援事業（移動販売事業の可能性調査）

交通弱者に対して現在ある福祉有償運送やチロリンバスの利用を通信にて紹介する主要な場所のバスに停時刻表看板設置を検討する

②⑦ほがらか起業塾

高齢者の生きがいをつくるためにコミュニティビジネスを検討したが、高齢者のニーズは「たまり場・憩いの場」づくり要望が強いため、実現に向けて事業を進める。

②⑧福祉有償運送事業

高齢者や障害者等の車の運転が困難な人が、気軽に通院できるように、外出手段を確保します。

また、タクシーの半額以下の低料金で利用可能であり、高齢化がさらに進む武儀において、益々需要が増していく事業です。今後、さらに多くの方が利用できるようにPRに努めます。

生涯学習委員会平成27年度 年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
NPO通信の発行(毎月発行)	NPO通信の発行											
武儀のむかし話・伝説ロマンウォークの会		ウォーキング大会開催						ウォーキング大会開催				
ムーンライトコンサートin高澤開催支援							コンサート開催予定					
情報基地むぎの設置と運営				写真展計画会議								
多世代交流サロンの運営	今年度は検討・計画しない											
スポーツの仲間づくり支援	運営費の助成活動											
武儀青少年健全育成協議会活動費支援	運営費の助成活動											
成人式写真プレゼント										成人式一写真配布		
武儀人材バンクの設置と活用				今後の募集方法についての検討と実施								

